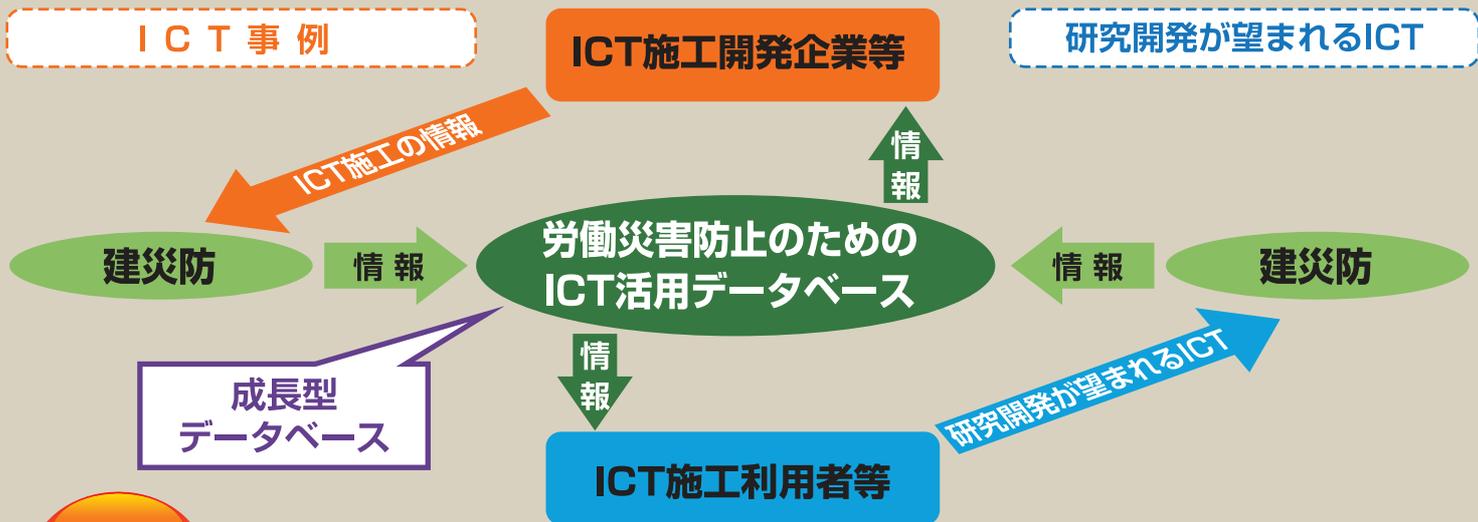


労働災害防止のための

# ICT活用データベースの紹介

- ICTは従来の労働災害防止対策では達成が難しい「本質安全化」を実現するために有効な技術です。
- 建災防では、労働災害防止に役立つ情報をデータベースとしてまとめ、HPで公開しています。
- このデータベースではICTが現場でどのように活用されているのかを掲載しています。また、新たに開発された技術も随時更新し、開発が望まれる技術のニーズ情報を集約することで、ユーザーとメーカーを繋ぐことができる成長型システムとして運用されています。



## 特徴

データベースの閲覧・掲載無料!!

委員会の審査を経た情報だけを掲載した信頼できるデータベース!!

月間アクセス件数ランキングも掲載!!

カテゴリー検索ができます!!

カテゴリーから探す

▼ 活用分類 ▼ 土木工事 ▼ 建築工事 ▼ 設備工事 ▼ その他 ▼ 抑止可能なリスク (災害の種類) ▼ 危険作業対策 ▼ 有害業務対策 ▼ 職場環境改善・メンタルヘルス対策 ▼ ICT関連

( )は事例件数

活用分類

- > 無人化・省力化 (143)
- > 能力支援等 (55)
- > 人・行動センシング (47)
- > 機械センシング (57)

残留リスク(活用上の注意点)を掲載しています!!

残留リスク(活用上の問題点)

①残留リスクの内容と対応策

あくまでも注意喚起までであり、実際に不慮な行動を回避してくれるかどうかは作業員次第。

②対応策についての今後の計画

- ・システムの配信方法
- ・アンドロイド対応

ICT活用による新たなリスク

## 掲載例(戸田建設株式会社様)

【ICT研究開発事例】バーチャルNATM/バーチャルNATM-TR

概要・活用方法

トンネル工事の現場において、工事・作業員を安全に作業させるための技術として、VR等を用いた安全衛生教育は、労働災害防止に有効な技術として期待されています。また、特に活内火災発生時には、実習する機会が限られるため、VR等を用いた安全衛生教育が求められます。

そこで、本ソフトは、VR等を活用して、トンネル工事 (NATM工法) の3D空間内を自由に移動しながら、安全衛生教育を行うことができるツールとなります。「バーチャルNATM」は、現場実習の中で、事故の発生原因となりうる不安全行動、不安全状態について、徹底する役割を担い、学習する機会を増やすことにより、トンネル工事での事故発生率を低減することを目指しています。「バーチャルNATM」は、災害発生時の対応手順や火災発生時の避難手順を学習することにより、トンネル現場での安全衛生教育について、効果的・迅速な対応を実現することを目指しています。

※1 一般社団法人トンネル工事技術者の協会の協賛による開発

詳細・お問い合わせ

本ソフトは、トンネル工事の現場において、工事・作業員を安全に作業させるための技術として、VR等を用いた安全衛生教育は、労働災害防止に有効な技術として期待されています。また、特に活内火災発生時には、実習する機会が限られるため、VR等を用いた安全衛生教育が求められます。

※2 本ソフトは、VR等を活用して、トンネル工事 (NATM工法) の3D空間内を自由に移動しながら、安全衛生教育を行うことができるツールとなります。

VR等を用いた安全衛生教育は、労働災害防止への効果が期待されています。

# 事例申請のご案内

申請は  
無料です



このデータベースは建設関係者が現場で役に立ったICT活用事例などの登録申請を随時受け付けています。建設関係者の皆様からの積極的な登録申請をお待ちしております。申請の方法は以下のとおりです。

## ICT活用事例の申請のメリット

- 会社の宣伝PRになります。
  - ・先進的なICT施工業者である!
  - ・労災防止や働き方改革の推進に熱心に取り組んでいる!
  - ・開発したICT情報のアピール!
- 申請事例がデータベースに掲載されることで、労災防止に役立つICTの発展に貢献できます。
- 好事例は建災防広報誌「建設の安全」に掲載される場合があります。



## 申請の方法

- 1 申請書をダウンロード
- 2 申請書に記入
- 3 ICT\_otoiawase@kensaibou.or.jp へてメールで申請書を送信

■建災防ホームページ



■トップページ



■申請要領のページ



登録申請を随時受付中です！  
申請要領はココをクリック

申請書はこちら

R3.7